



なぜこうになってしまうのか

アルツハイマー病や認知症の人にみられる傾向

•薬を飲むのを忘れる

•薬を飲んだことを忘れるため、何度も何度も薬を飲んでしまう

•間違った薬を飲んだり、飲む量が多すぎることによって、具合が悪くなったり中毒反応を引き起こす

薬

アルツハイマー病や認知症の人は薬を正しく服用するのに助けを必要とすることがあります。薬を飲みすぎたり、飲み足りなかったり、または処方されたとおりに服用していなかったりするのは大変危険です。

あなたにできること

注意深く見守る

- 実施しているかを確認
 - 適切な量を適切な時間に服用していること
 - 処方箋に記載の指示を守っていること
- カウンターの上に薬の入ったピルケースやコップを置きっぱなしにしない
- 薬を飲む際に一人にさせない

薬をしまっておく

- 薬は必ず見えないまたは手の届かないところに置くこと

受診している全ての医師に話す

- 処方医の判断をあおぐ前に、勝手に服用をやめさせない
- 各医師の受診時には、かばんやピルケースなどに全ての薬を入れて持参する
 - ビタミン剤、漢方薬、お茶、クリーム、ドラッグストアで買ったその他の薬も含む
- 薬を食事や飲み物に混ぜてもよいか医師に尋ねる
 - 薬を飲ませるのに苦労しているようであれば役立つ

注：暴力的な行為や浴室での事故など急な変化に気づいた場合は、医師に連絡すること

- これらの変化は、薬の副作用や新たな疾患によって引き起こされている可能性があります



ヘルプライン
844.HELP.ALZ
alzgla.org